

レポートの種類

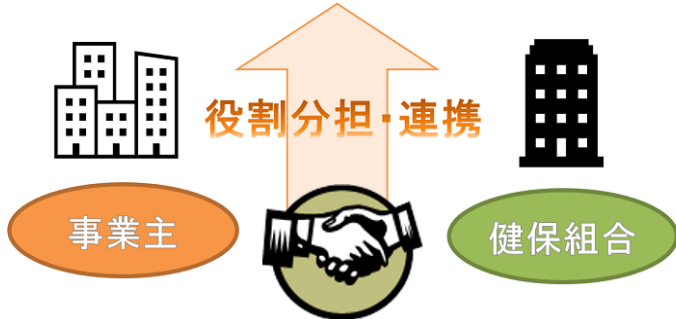
保険者単位レポート

貴組合の業態

その他のサービス業

### 健保組合の保健事業が健康課題の解決策に！

本レポートでは、事業主と健保組合のコミュニケーションの一助となるよう、予防・健康づくりの取組状況や健康状況等を可視化しています。経営者においては、企業の財産である従業員等の健康を守るために、健保組合と連携した従業員等の予防・健康づくりの取組のさらなる推進にご活用ください。なお、健康状況等に関する詳細情報は健保組合にお問い合わせください。



【本レポートで使用するデータ】

2020~2024年度の貴組合に所属する全加入者のデータに基づいて作成しています。レポートの詳しい見方については、健康スコアリング活用ガイドラインをご参照ください。

【本レポートで使用する用語の定義】

「組合」及び「健保組合」：健康保険組合 / 「全組合」：全健康保険組合 / 「医療費」：年間医療費 / 「特定健診」：特定健康診査 / 「業態」：健康保険組合における業態 (29分類)

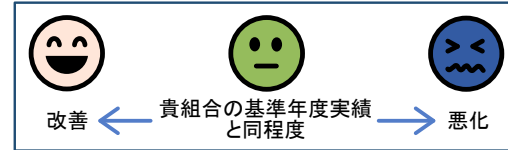
【本レポートにおける顔マーク】

顔マークの詳細については、健康スコアリングレポート参考資料P14・P15「(参考)各指標の算出方法」をご参照ください。

■判定基準値(全組合平均を100とした場合)



■判定基準値(貴組合の基準年度実績を100とした場合)



### 貴組合の特定健診・特定保健指導の実施状況

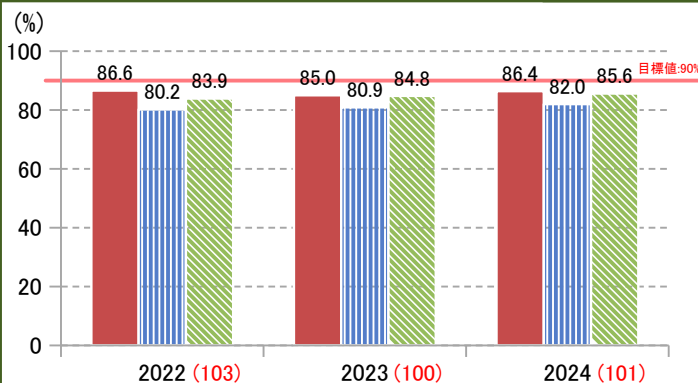
#### 特定健診・特定保健指導



単一組合順位	589位 / 1,120組合
全組合順位	695位 / 1,375組合

#### 特定健診の実施率

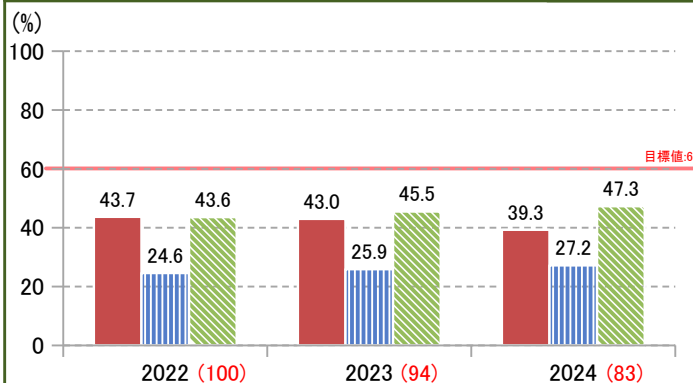
1ランクUPまで(\*1) あと 269人



特定健診の実施率	2022	2023	2024
貴組合	86.6%	85.0%	86.4%
業態平均	80.2%	80.9%	82.0%
単一組合平均	83.9%	84.8%	85.6%

#### 特定保健指導の実施率

1ランクUPまで(\*1) あと 254人

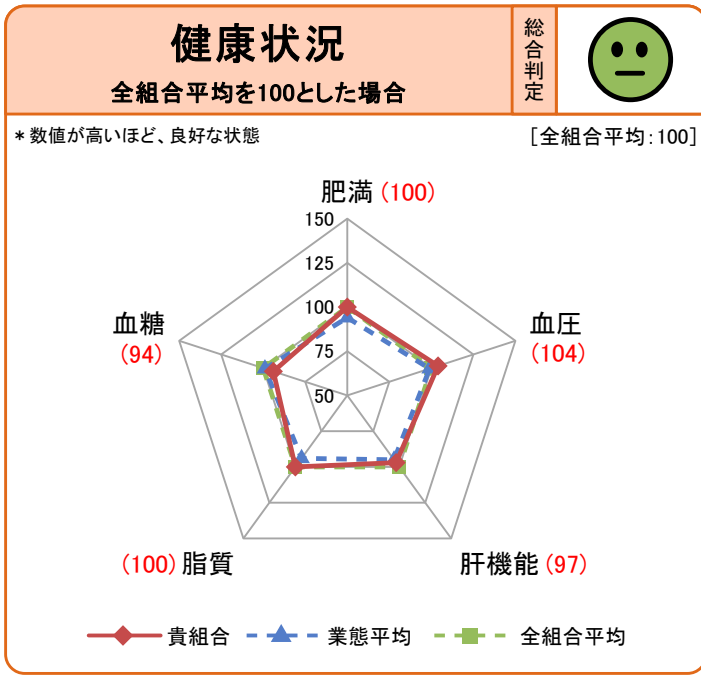


特定保健指導の実施率	2022	2023	2024
貴組合	43.7%	43.0%	39.3%
業態平均	24.6%	25.9%	27.2%
単一組合平均	43.6%	45.5%	47.3%




※ 目標値は、第4期(2024~2029年度)特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。第3期(2018~2023年度)の目標値は健康スコアリング活用ガイドラインを参照。  
※ 順位は、保険者種別(単一・総合)目標の達成率の高い順にランキング。  
※ ( )内の数値は、単一組合平均を100とした際の貴組合のスコア。

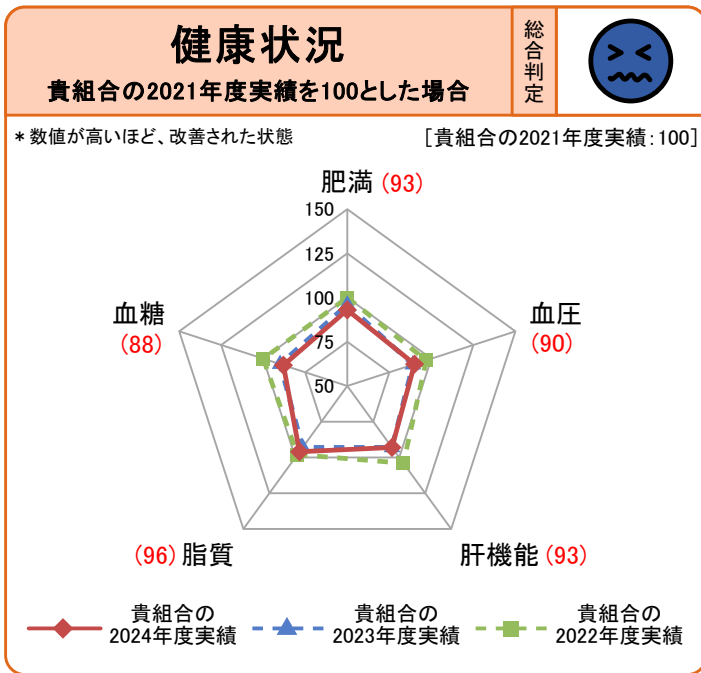
■ 貴組合 ■ 業態平均 ■ 単一組合平均  
※ (\*1) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(実施人数)を記載。  
※ 実施率が100%であっても、貴組合のスコアによって順位が1位とならない場合があります。  
※ レポートで使用されている記号についてはP3下部をご参照ください。

# 貴組合の健康状況(生活習慣病リスク保有者の割合)



※ 2024年度に特定健診を受診した者のデータを集計。

健康状況の経年変化		2022	2023	2024	
肥満	貴組合	104	101	100	
	業態平均	95	95	94	
血圧	貴組合	113	103	104	
	業態平均	100	99	99	
肝機能	貴組合	107	97	97	
	業態平均	96	95	95	
脂質	貴組合	108	102	100	
	業態平均	95	95	94	
血糖	貴組合	105	96	94	
	業態平均	100	98	99	



健康状況の経年変化		2022	2023	2024	
肥満	貴組合	100	96	93	
血圧	貴組合	97	89	90	
肝機能	貴組合	104	93	93	
脂質	貴組合	98	93	96	
血糖	貴組合	100	90	88	

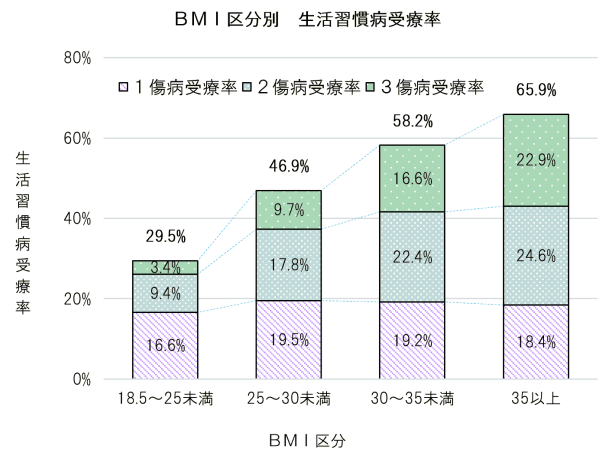
### 【コラム】BMIを適切に管理して生活習慣病を予防しましょう！

肥満との関連が強い高血圧症・脂質異常症・糖尿病について、電子レセプトから受療率を集計しました。肥満とされるBMI値25以上から受療率が高くなり、BMI値が高くなるほど複数疾患の受療率も高くなる傾向が見られました(右図参照)。

肥満は、高血圧症・脂質異常症・糖尿病などの生活習慣病をはじめとして数多くの疾患のもととなるため、健康づくりにおいて肥満の予防・対策は重要な位置づけを持ちます。

BMIを適切に管理して、生活習慣病を予防しましょう。

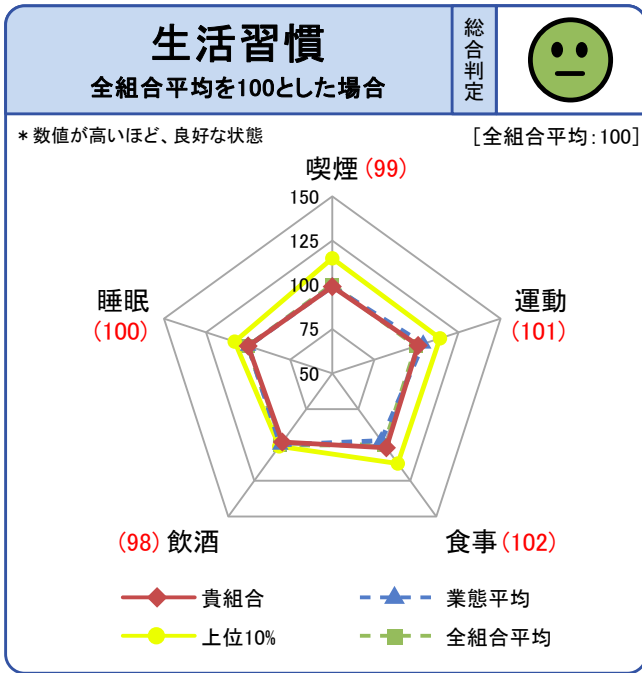
※ 2023年度に特定健診を受診し、BMIの記録がある約2,400万人を対象に集計  
 ※ 対象者における2023年度診療レセプトから生活習慣病(高血圧症・脂質異常症・糖尿病)受療率を算出








※ レポートで使用されている記号についてはP3下部をご参照ください。

# 貴組合の生活習慣（適正な生活習慣を有する者の割合）

※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。

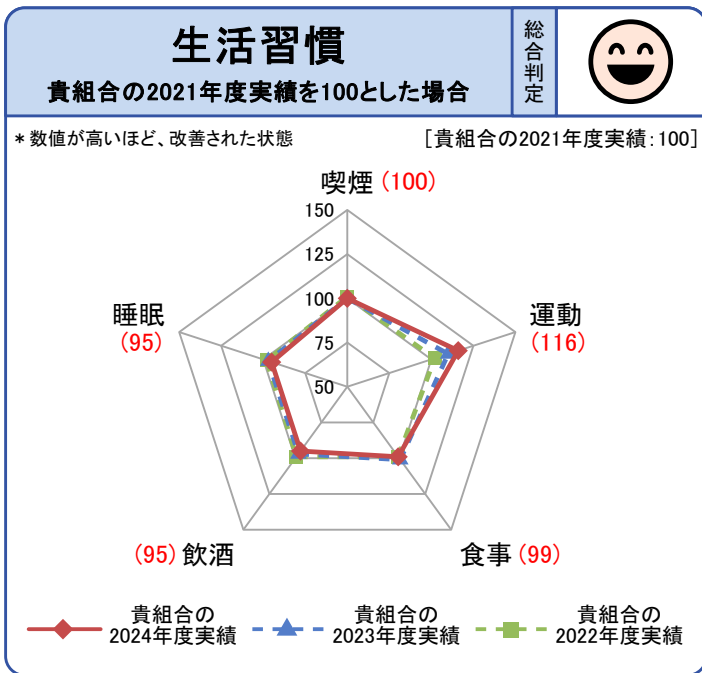


※ 2024年度に特定健診を受診した者のデータを集計。

生活習慣の経年変化		2022	2023	2024	ランクUPまで (*1)
喫煙	貴組合	101	100	99	 あと 422人
	業態平均	99	99	99	
	上位10%	117	115	115	
運動	貴組合	95	99	101	 あと 341人
	業態平均	104	105	104	
	上位10%	128	128	114	
食事	貴組合	101	103	102	 あと 266人
	業態平均	97	97	97	
	上位10%	98	102	113	
飲酒	貴組合	100	98	98	 あと 115人
	業態平均	100	100	100	
	上位10%	103	103	101	
睡眠	貴組合	99	100	100	 あと 166人
	業態平均	100	100	100	
	上位10%	105	108	108	

※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合は、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。

(\*1) “ランクUP”は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安(リスク対象者を減らす人数)を記載。



生活習慣の経年変化		2022	2023	2024	
喫煙	貴組合	101	100	100	
運動	貴組合	102	110	116	
食事	貴組合	99	101	99	
飲酒	貴組合	99	97	95	
睡眠	貴組合	98	97	95	

### 【コラム】睡眠習慣を見直しましょう！

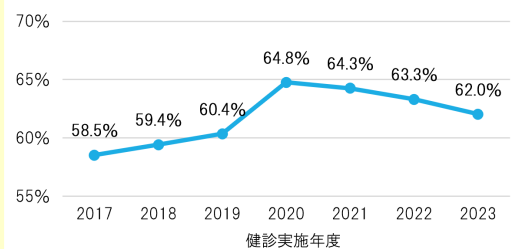
睡眠の適切な生活習慣を有する者の割合は、2020年度（新型コロナウイルス感染症の流行初期）にピークを迎え、その後減少傾向にあります（右図参照）。働き方や生活リズムの変化により、知らず知らずのうちに「睡眠の質や量」が低下している可能性があります。

睡眠不足は、日中の眠気や疲労、頭痛等の心身の不調、感情の不安定さ、注意力や判断力の低下につながり、作業効率や学業成績の低下、事故リスクの増大等、日常生活に広く影響します。さらに、様々な睡眠の問題が慢性化すると、肥満、高血圧、2型糖尿病、心疾患や脳血管障害の発症リスクの上昇や症状の悪化に関連し、死亡率の上昇にも関与することが明らかとなっています。

心身の健康を保持し、生活の質を高めるためにも、質・量ともに十分な睡眠を確保できるよう睡眠習慣を見直しましょう。

※ 2017～2023年度に特定健診を受診した者のうち、睡眠習慣に関する質問票に回答した者を対象に集計

睡眠の適切な生活習慣を有する者の割合の経年変化



【注】【本レポートにおけるデータ対象】

- ・医療費：全加入者 / 特定健診（健康状況・生活習慣）：40歳～74歳
- ・2025年4月1日以前に合併のあった組合の2024年度分の医療費については、合併前の各組合のデータを合算して表示

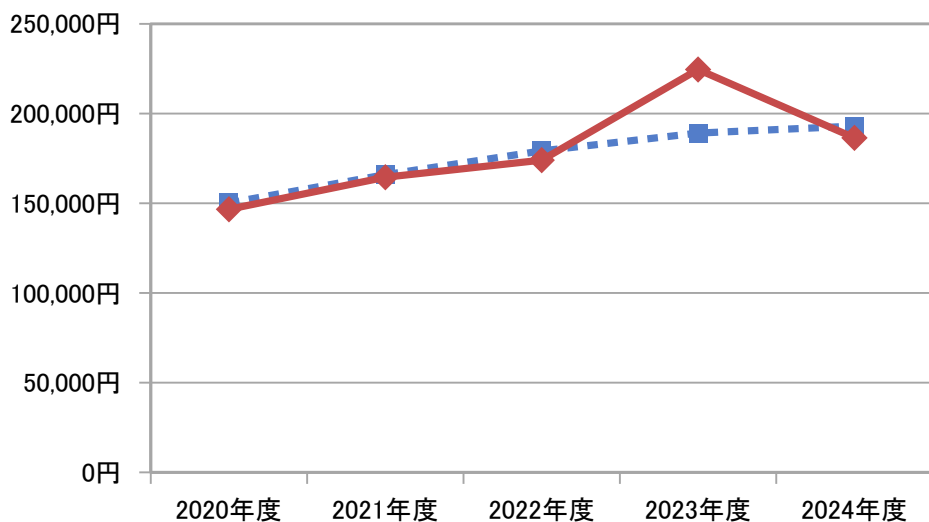
【本レポートで使用する記号一覧】

- ・（空欄）：データが存在しない場合
- ・ - ：計算不能の場合
- ・ × ：特定健診受診者数が50名未満の場合（2024年度版以前のレポートでは対象者数50名未満の場合）
- ・ \* ：リスク保有者の判定基準に該当した人数が0人の場合
- ・ ■ ：対象者が0人の場合のランクUPまでの人数

# 貴組合の医療費状況

## 1人あたり医療費と性・年齢補正後標準医療費の推移

### 医療費



参考: 医療費総額(2024年度)  
医療費総額は10割負担分を表示しています。

貴組合

6,276百万円

参考: 3疾患(高血圧症・脂質異常症・糖尿病)  
の医療費総額(2024年度)

貴組合

1,185百万円

◆ 1人あたり医療費

性・年齢補正をしていない貴組合の総医療費を貴組合の加入者数で除した医療費。

■ 性・年齢補正後標準医療費

全組合平均の性・年齢階級別1人あたり医療費を、貴組合の性・年齢階級別加入者数に当てはめて算出した1人あたり医療費。

1人あたり医療費	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
貴組合	146,650円	164,515円	174,039円	224,565円	186,454円
貴組合(性・年齢補正後標準医療費)	150,202円	165,940円	179,202円	189,123円	193,021円

【貴組合の1人あたり医療費(2024年度)】

貴組合	性・年齢補正後標準医療費	性・年齢補正後組合差指数
186,454円	193,021円	0.96

参考: 貴組合の男女別・年代別1人あたり医療費(2024年度)

	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
貴組合	178,234円	195,275円	104,446円	135,000円	171,410円	251,613円	337,379円
業態平均	190,635円	196,033円	101,143円	142,333円	172,172円	245,176円	363,009円
全組合平均	184,251円	199,621円	104,350円	144,308円	171,906円	245,883円	366,931円

※性・年齢補正後組合差指数とは、医療費の組合差を表す指標として、1人あたり医療費について、加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの。指数が1より高いほど、全組合平均と比較して性・年齢補正後の医療費が高い傾向であることを示す。具体的な算出方法は、参考資料P14「各指標の算出方法」及び「健康スコアリング活用ガイドライン」を参照。

※男女別・年代別の加入者数が50名未満の場合、その項目の1人あたり医療費情報は「×」表示です。

3疾患(高血圧症・脂質異常症・糖尿病)の1人あたり医療費	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
貴組合				43,612円	35,203円
業態平均				37,463円	38,027円
全組合平均				35,345円	36,253円

※2022年度以前は集計対象外のため空欄。

健康スコアリングレポート【レポート本紙】

2025年度版

(2024年度実績分)

厚生労働省 日本健康会議 経済産業省